

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度第2回春日部市総合教育会議
開 催 日 時	令和4年2月15日(火) 午後4時00分開会 午後5時30分閉会
開 催 場 所	春日部市役所 本庁舎2階 第2委員会室
議長(委員長・ 会長)の職氏名	-
出席者及び欠席者 の職氏名及び人数	別添の名簿のとおり
事務局職員 の職氏名	政策課 企画・行政改革担当主幹 石川 貴英 政策課 企画・行政改革担当主査 大貫 礼奈
会議事項、議題 及び説明者	1 開会 2 市長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協議・調整事項 (1) 新型コロナウイルス感染症対策について(意見交換) 説明者:総合政策部次長、学校教育部次長 (2) ICTを活用した教育環境の整備について(意見交換) 説明者:学務指導担当次長 (3) 子どもの学力向上について(意見交換) 説明者:学務指導担当次長 (4) スクールロイヤー制度について(意見交換) 説明者:学務指導担当次長 5 事務連絡 6 閉会
会議資料	・令和3年度第2回春日部市総合教育会議 次第 ・新型コロナウイルス感染症対策について ・ICTを活用した教育環境の整備について

会 議 録

	・子どもの学力向上について
会議録の確定	令和4年 3月 14日

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	【1 開会】
	【2 市長あいさつ】
	【3 教育長あいさつ】
	【4 協議・調整事項】
進 行 (市長)	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について（意見交換） はじめに、春日部市における新型コロナウイルス感染症対策について、執行部より説明をお願いします。
説明者	《春日部市における新型コロナウイルス感染症対策について説明》
進 行 (市長)	続いて、教育行政における新型コロナウイルス感染症対策について、説明をお願いします。
説明者	《教育行政における新型コロナウイルス感染症対策について説明》
進 行 (市長)	ただいま説明がありました。こちらのテーマについて、委員の皆様から順番にご意見等をお願いします。
委 員	ただいま、執行部より色々と説明をいただきましたが、個人的には、このコロナというのは一体何だろうかと考えてしまいます。学校現場は、学級閉鎖、学年閉鎖にまで追い込まれてしまうほど蔓延していて、この感染症が始まった頃には著名人が亡くなるなど大変大きなショックを受けたことを思い出します。私の所には、毎日県や市から様々な情報や資料が送付されてきますが、現在多くを占めるオミクロン株は、乳児、幼児、児童へと感染が拡大し、そこから保護者へと感染拡大するなど、大変悩ましい状況です。学校においては、検温や手指消毒の徹底などを行いながら、授業中は極力声を出さないなど対策を徹底されているでしょうし、本来はグループ同士で会話をしながら給食を楽しみたいところ、みんな同じ方向を見て、黙食せざるをえない状況や、休み時間も静かに過ごさなければいけない現状など、学校現場は、対応に苦慮されていることと思います。もはや、マスクの装着・手指の消毒・検温については、ルーティン化されて生活習慣となってきました。そのような中、医療

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委 員	<p>関係者の方からは2歳からマスクを装着したほうがいいのではという意見も聞こえてきますが、2歳、5歳では、健康観察等々ができないなどの現状もあります。これだけ、人間を恐怖に落とし入れる、このコロナというのは、本当に何だろうと考えてしまいます。以上です。</p> <p>何十年前かに流行したスペイン風邪みたいなものでして、コロナウイルスというのは以前から存在します。まず、マスクの重要性ですが、私も含めて装着しているマスクでは、ウイルスが身体に入ることを防ぐことは出来ません。ウイルスを進入させないようなマスクというのは、息をすることも困難なものです。ですから、マスク装着の意味は、他人への飛散と言いますか、飛沫感染を防ぐという意味で考えていただいた方がより正しいと思います。デルタ株の時は、大人から子どもや子ども同士の感染は少ないだろうと言われていましたが、ウイルスも生き残らなければならないので、どんどん変異を繰り返しているわけです。今のオミクロン株は、子ども同士や子どもを通して大人へと感染経路が変化しています。飛沫感染がほとんどのようです。感染症に関する法律的な話となりますが、現在コロナウイルスは2類感染症に分類されていますが、個人的な見解としては4類感染症にし、インフルエンザと同程度にしないとずっと続いてしまうと思います。ヨーロッパの方では、オミクロンの家系のような変異株が出ているようで、今のオミクロン株よりもさらに感染性は強いとも言われています。東京の感染者数が一番多い時でも重症化率は低いですが、感染している患者数が多いので死亡者数は増えてきている現状はあります。感染者数は、高止まりが続いているので、ある意味、長い目でうまく付き合っていくと考えるのも必要なのかなと思います。</p> <p>配付資料を見ていただきますと、ワクチン接種は市内77医療機関にて実施しております。集団接種は、2月は消防本部とイオンモール春日部にて、3月は市民体育館も追加し、土・日・祝日で実施していく予定です。5歳以上の接種に備えた準備も進めています。教育委員会等とも相談して、コロナによる学級学年、学校閉鎖の情報も出すようになりました。特に小学校低学年に対して急に学級閉鎖と言われても、保護者が直ぐに対応できない場合もあります。</p> <p>教職員においても、先生が次々に倒れてしまわないとも限らないですし、そういうことも含めて、備えあれば憂いなしということ</p>

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委 員	<p>対応していただけるようお願いしてあります。 説明のような形となってしまいましたが、以上です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策においては、行政をはじめ、医療関係者と学校教育関係の皆様には大変ご尽力をいただいているというのが率直な感想です。新型コロナウイルスが世に出た頃は、私たちも感染症に対する知識がなく、いろいろな学びがあったと思いますが、一人ひとりが感染対策を心がけながら、長く付き合っていくしかないのかとも同時に思っています。ただ、ワクチン接種においては追加接種も入ることで、一部でも緩和されていけばいいなと思います。12歳以上の子どもの接種が開始された時もそうですが、今回、5歳から11歳までのワクチン接種が始まるにあたって、保護者の方たちはきっと何か不安な所もあるかと思しますので、子どもに受けさせるかどうかの判断はされるかと思しますが、十分に理解したうえで判断ができるように、情報提供いただければと思います。学校関係では、学校行事や部活動の制限が出て、子どもたちはその中でも一生懸命頑張っていますし、教職員の方たちも、様々な工夫をしてご尽力いただいているのではないかなと思っています。そこでやはり大切になってくるのが、学校と保護者との信頼関係といえますか、そのようなものが、感染症対策でも大切になってくるのではないかと感じています。以上です。</p>
委 員	<p>社会事業的なことだと、当初は公民館など、ほとんどが閉館されていましたが、今年になって開館し、部屋を貸したり、展覧会も少しずつ解禁というんでしょうか、予定を立てたりと、色々な人たちが随分増えたと感じています。私も先日、会議室を利用しましたが、このように徐々に社会活動が出来るというのは本当に幸せだなと感じています。ただ、一般の我々にとって、本当にどうしたらいいのか、その手立てが全く入ってこなかったり分かりにくいので、一般家庭への情報提供が一番大事かなと思いますし、外出する際の基準など、我々に届くような方法でお願いしたいなと思います。</p>
委 員	<p>情報発信ということに関してですが、このところ5歳からの接種についてメディアで目にします。対象の保護者の方にお聞きしたところ、接種なんてとんでもないとの返答もありました。一方で、小学校へ行くには、受けなければいけないのかという質問もあり、も</p>

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
説明者	<p>ちろんそんなことはないですよと答えましたが。私の所では、園との協議によって、園を封鎖するなどの措置がとれるため、その旨を保健所に電話して伝えた際に、「適切な判断でしたね」の一言だけで。学校の場合、学級・学年・学校閉鎖などの場合は、保健所の指導は入っているのでしょうか。今現在の保健所の状況はどうなっているのでしょうか。わかる範囲で教えていただければと思います。</p> <p>保健所に関しましては、最初は濃厚接触者の特定から待機期間まで事細やかに指示がありましたが、現状は感染者が非常に多く、十分機能していないような対応状況かなというのが現実だと思います。ただ、濃厚接触者の特定について保健所では特定しないのかと聞きますと、縮小して実施しているとのことのお答えですので、そうしますと今までの経験から、学校医や医師会のアドバイスを伺いながら、我々の経験を生かして、判断し実行していく、そういう状況かと思えます。</p>
委 員	<p>保健所的にはかなり厳しい状況かと思えます。資料にもありますが、春日部市においても15以上の医療機関が入院・宿泊療養・自宅療養の対応をしています。埼玉県からの依頼に基づき、医療機関側は報告を必ずしますが、保健所としても陽性者の報告は受けるけれども、フォロー体制まで回らないのが現状だと思います。それから、5歳以上接種についてですが、市内では対象が約12,000人位なのですが、様子見なども勘案すると、接種するのは5,000人位であるかと行政担当の方とも話しています。先ほど、委員のお話しの中で、保護者に聞かれた場合にどのようにお答えするのがいいかとのお話しも出ましたが、オミクロン株については、子どもは重症化しにくいけれども、子どもから感染する可能性があることだけは、お話しされてもいいかと思えます。以上です。</p>
教育長	<p>大変悩ましい問題ではありますが、世の中で言えば、経済活動と感染症対策をどうするのかと同じように、学校や社会教育においては、その子どもや市民の教育活動と、感染症対策をどう両立していくのか、まさにウィズコロナをどうしていくか究極の選択を今我々が迫られている、そんな状況にあるかと思えます。特に子どもで言えば、本来は、関わり合いの中から、育っていくところ、しゃべっ</p>

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
進 行 (市長)	<p>てはいけない、黙って食べなければいけないなど、楽しみにしている教育活動ができないというのは、本当に断腸の思いです。しかしながら、保護者や子どもたちの不安を取り除くことをまず最優先で考えたときに、心苦しいけれども、こらえてもらうしかないかなという思いの中で、1月21日付、1月28日付の通知を出しました。家庭の協力を得つつも、なかなか感染は止まらない状況で、これはもう、どう向き合っていくかが大事ですが、39度の熱が出た子もいる中、幸いにも重症化していないというのが現実です。先ほど、5歳児のワクチン接種の話が出ましたが、毎日全ての学校のデータを取っていますが、そのデータから分かることがあります。小学生と中学生の感染率が、おおよそですけども、2対1の割合よりも、小学生の方が多傾向にあります。これは、恐らく、12歳以上の接種に関係しているのではないかと思います。中学生は、進路の関係などでワクチン接種に対して積極的なのかかもしれません。もちろん、教職員が児童生徒に対して、ワクチン接種に関して確認することは一切ないのですが、データからは、そのような傾向が見られるというのが、個人的な感覚です。いずれにしても、春日部の感染状況は、1月早々から大分広がったことがあり、先ほどの通知文にもありましたとおり、県ではこういうレベルと言っているよりも強い感染症対策を今後も維持していきます。デルタ株までは、とにかくクラスターは一つも発生していません。学校教育施設においても社会教育施設においても、それは、特に学校はお手本のような感染症対策をしてきたことがあるかと思えます。それをくぐり抜けてきているのが、オミクロンだと思います。でも、もしこれを油断し、マスクをしない活動が増えていけば、この数ではなかったと思っております。ですので、これからもしっかりと校長会と連携をとり、家庭の協力を得るほか、市民の方にも多少の我慢をしていただきながら、しっかりと対応していきたいという思いでいます。まとめになりますが、しっかり一緒に頑張っていきたいと思いますという思いです。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>市では、対策本部会議の開催や医師会にも何回かお邪魔させていただき、色々と情報を収集しています。その中で、先ほど教育長の発言にもあったようにワンランク上の対策でいきたいと考えており、まだ他市で取り組んでいないような、部活動の完全禁止とかまで立ち入って、今は少しでもリスクを軽減すべきだろうと思えます。</p>

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	<p>教育委員の皆様方にも、このことについてご理解とご賛同をいただき、また教育行政にご協力いただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
進 行 (市長)	<p>(2) ICTを活用した教育環境の整備について (意見交換) 次に、ICTを活用した教育環境の整備についてについて、説明をお願いします。</p>
説明者	<p>《 ICTを活用した教育環境の整備について説明》</p> <p>市長・教育長・委員 児童生徒に配付された【学習者用端末 (タブレット)】体験</p>
進 行 (市長)	<p>こちらの議題は、実際にタブレットを体験していただきましたが、個別に分からないことなどありましたら、執行部へ確認をお願いします。時間のこともありますので、次の議題へと進んでよろしいでしょうか。</p>
委 員	<p>《異議なし》</p>
進 行 (市長)	<p>(3) 子どもの学力向上について (意見交換) 次に、子どもの学力向上について、説明をお願いします。</p>
説明者	<p>《子どもの学力向上について説明》</p>
進 行 (市長)	<p>ただいま説明がありましたが、こちらのテーマについて、委員の皆様から順番にご意見等をお願いします。</p>
委 員	<p>調査結果の概要ですが、全国平均や県平均はわかるのですが、全国平均や県平均と春日部市との比較検討が出ていないので何とも申し上げられませんが、学力向上にあたっては授業の改善も重要ですが、その授業を受けて内容がどれだけ児童生徒に定着したかを分析し指導力につなげていくことが求められるのではないかと思います。</p>

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>す。その点、先ほどのタブレットのようなICT導入によるAIドリルは、楽しみながら復習や発展問題もでき、子どもたちの理解度などを、先生方の分析につなげることができるので、とても有効だと感じました。家庭の環境もとても大切だと思いますが、保護者の学習に対する考え方は様々だと思いますので、先生方、学校側と保護者側との思いが一つになって、子どもたちに接していくことが必要なのかなと思います。学力調査の結果で色々足りないということもあるかと思いますが、学ぶことが楽しいと感じる体験や環境づくりはとても大切だと思っています。学ぶことが楽しいということは、義務教育期間の間だけではなくて、大人になってからも一生繋がっていくものなので、その楽しさを子どもたちが一人でも多く感じてほしいと思っています。そうすると、やはり学校だけではなくて、家庭や地域、さらには行政などがその環境をつくっていくことが大切だと思いますし、その先に学力向上があるのかなと感じています。</p> <p>この学力向上というのは、本当に難しい問題で、どれ位を目標にするのか。個人的には、子どもたちの負担にならないような指導を望んでいます。学校全体の意識をトップに持っていこうとしているのか、そうではない方向なのか、父兄の方が余裕を持って子どもを学校に通わせることができるような方向性が欲しいなと思います。やはり子どもの個性が失われないように、指導と言いますか方向性を持っていただければありがたいと思います。昔から、子どもには隠れた才能がたくさんあると言われていいますので、やはり子どもの好きなことが成長に繋がるような方法でお願いしたいと思えます。</p>
委員	<p>大きな課題かと思います。学校現場では、春日部メソッドを中心として、様々な取組を行っていただいていると思いますが、やはり、それぞれの個性があろうかと思います。授業構成やタブレット利用など、大いに期待できる感覚もありますが、授業の中で、鉛筆の持ち方の指導は行っているのでしょうか。</p>
説明者	<p>学校によって指導の徹底度は様々かと思いますが、基本的に鉛筆の持ち方等は指導しています。</p>
委員	<p>研究事業などの参観をしますと、鉛筆の持ち方がとても残念に思</p>

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委 員	<p>えました。非常に寂しいなという感覚を覚えました。</p> <p>G I G Aスクール構想の時から言っているように、やはり集団があれば学校格差、児童生徒の格差、教職員格差が出てくるのはしょうがないとは思いますが、導入間もなく時間が経ってないので、スキルだけは均一に学校によって違わないようにしていただきたいと思えます。優劣をつけて各市の平均点が出てしまうのもどうかと思えますが、標準偏差的に低いからといって判断してしまうのはどうかと思えます。悪い所を直すのはいいのですが、良いことはさらにどうしてよかったのかという方向性で見ていただくこともお願いしたいと思えます。</p>
教育長	<p>いつの時代でも、子どもたちに対して確かな学力を身につけてもらうことは、学校教育の使命であることは間違いないと思えます。埼玉県学力学習状況調査や全国学力学習状況調査の問題は、はっきり言いまして、とても難しいです。どの市町村の子どもも、各都道府県の子どもも、同じ問題を解いていますが、春日部の子どもたちの基礎学力テストが低いとは私は思っていません。それは、例えば、そういったテスト以外に、日頃から行っているものや、東部地域間で同じ問題に取り組んでいる校長会テストなどの結果を見る限りでも決して低くはありません。私も小・中学校を回って、研究授業などを見ていますが、決してその授業の質が悪かったことはないです。中には、指導力が不足している教員もいるかもしれませんが、とても素晴らしい授業や、先生方も多くいますので、ぜひ市長をはじめ、教育委員会の皆さんも時期が許せば、そういった教員の姿や子どもたちの姿を直接見ていただきたいと思っています。ただ、読解力の弱さというのは、数字にも出ていますが、恐らくどこの市町村も同じ結果だと思います。この読むことというのは、春日部の子どもたちだけではなく、他の領域に比べるとやはり低いと思えます。今の高校入試の問題も、全国学力学習状況調査問題も、ものすごい長文読解です。資料を読んで関連付けて解答するというのは、日頃の授業の積み重ねや、そういう問題に慣れていなければできないんだと思えます。春日部の子どもたちは、決して基礎学力がないとは思いませんので、そこは春日部の子どもたちは自信を持っていいと思えます。もう一つ、何人もの方がおっしゃったとおり、良さや取り柄を延ばすということを、春日部はずっとやってきました。</p>

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
進 行 (市長)	<p>従って、学力テストの結果だけではない、部活動での成果だとか、自分で書写や絵画など色々な分野で表彰を受ける子どもが沢山います。私はそれも学力だと思っています。それと、先ほど楽しみながら学ぶという部分においては、それが今残念な状況にあります。行事・生徒会活動・部活動といった子どもたちが楽しみにしているものに制限がかかり、実施できない状況が非常に残念です。全体アンケートを取ったことはありませんが、春日部の小・中学生は、学校が楽しいと思っている生徒の割合が私は非常に高いと思います。それは、学校に居場所があって、豊かな教育活動がある、そういう地域に育まれているからだと思います。数字的なものを上げるためには、私はもう2つしかないと思っています。そういった問題を繰り返し練習するか、もう一つは、家庭学習の充実だと思っています。学校でどんなにドリルを使ったり、授業を受けたとしても、それを家に帰って復習したり、自分の中で高める習慣がないと学力は上がっていかないと思います。色々な学校の評価を見ていくと、家庭学習が不足しているという保護者の意見がある一方、ゲームやスマホに費やしている時間が長いという統計結果があり、ここを改善しない限りはいわゆる数字に表れてくる都道府県順位だとか、市町村順位については、やはり壁にぶつかるんだろうと思います。ただ、放置するわけにはいきませんので、いろんな取組を学校と連携しながら行っていますが、今回のICT活用によるAI導入が一つの引き金になって、子どもたちの学習意欲を喚起し、学力向上に繋がればという強い期待を持っています。以上です。</p> <p>私は15年間位の市議会議員の活動の中で、卒業式や入学式の中で生徒に向けて話す機会があった時は、必ず勉強の仕方について話してきたのですが、皆さん興味深々でこちらを見てきます。その時に1つだけ言うのが、テストでいい点を取るには復習以外ないですよと話します。その日のうちにやったことを、その日のうちに見直すだけで記憶定着率は全く違いますし、声に出して学習すると、第六感とでもいうのでしょうか、感覚的に覚えてしまうわけです。先ほど、教育長も言われていましたが、国語力を上げることは学力向上に大いに影響しますので、絶対に必要だと思います。私自身も、執行部とのやり取りを通じて、自分自身の語彙力が足りないのかと思うこともあり反省しますが、そんな時も、やはり復習や繰り返しやることの大切さを実感します。是非、子どもたちにも取り組んで</p>

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	もらえれば、ありがたいと思いました。
進 行 (市長)	(4) スクールロイヤー制度について (意見交換) 次に、スクールロイヤー制度について、説明をお願いします。
説明者	《スクールロイヤー制度について説明》
進 行 (市長)	ただいま説明がありましたが、こちらのテーマについて、委員の皆様から順番にご意見等をお願いします。
委 員	近隣市で2例あるというお話でしたが、学校現場においては多種多様な事象に対する対応に苦慮されていることと感じています。そのような機会を設けるとするのは大変素晴らしいですし、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの学校におけるコンプライアンスの遵守は、大変いい方向かなと考えています。
委 員	簡単にお伺いしますが、さいたま市では7割が解決しているということですが、残りの3割はどうしているのか気になります。流山市が100件ということで春日部市の方が多いのかなと思いますが、春日部の現状をお話いただける範囲で教えていただければと思います。また、相談しやすい相談窓口、環境づくりをして風通しをよくしていかないと、教職員の成り手もなかなか増えてこないのでもよろしくをお願いします。
進 行 (市長)	春日部の現状など、答えられる範囲でお願いします。
説明者	市の顧問弁護士に相談したケースについては、今年度2件です。昨年度は5件です。流山市の100件との数字の違いをどうみるかは、状況も色々あると思いますので難しいところがあります。以上です。
委 員	数字だけを見てもどうしてこんなに違うのかと、流山市は細かいことを全て上げているのか、春日部市の件数が少ないならそれでい

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
進 行 (市長)	<p>いのですが、ただ数字のみの比較だと何かあった時に余りにも気になります。</p> <p>それでは、その件については調査をしていただき、後日教えていただくということでよろしいでしょうか。よろしく申し上げます。</p>
委 員	<p>スクールロイヤー制度については、とてもいい制度だと思っております。学校関係の問題に対して法的立場で弁護士の先生にご助言いただけるのは心強いですし、公正な意見が聞けるといいことであると感じます。ただ、スクールロイヤーの弁護士の立ち位置が学校寄りだと、保護者からすると法的な措置をとられると言いますか、訴訟に向かっているのかと不安にもなりますし、何か中立的な立場でアドバイスなどいただけるのであればいいかなと思います。さいたま市で実践している児童生徒を対象としたいじめ防止講座などは、弁護士の先生から憲法で保障されている人権などの話を聞けるといいなと感じました。以上です。</p>
委 員	<p>このスクールロイヤー制度というのは、現在春日部市にはないということですが、今後配置される予定はあるのでしょうか。配置しないで済んで、いじめ防止、教職員研修、法律相談その他が適切に処理されていけば必要はないわけですが、現在の春日部市の状況が分からないものですから教えていただければと思います。以上です。</p>
説明者	<p>現時点では導入されていませんが、社会的に色々な状況変化がありますので、その制度のメリット、デメリットを見極めながら、必要であれば導入に向けた準備を進めていければと思います。現場の声としては、自分の対応に迷いが生じてしまうこともあります。その時に、市の顧問弁護士にはっきりとした対応をとっていただくと、校長の自信や安堵にもつながります。現状の制度では、校長と顧問弁護士との関係はそのような状況となっています。</p>
教育長	<p>先ほど春日部市の相談件数について説明がありましたが、実際に市の法律相談を行った件数は5件以下ではありますが、現場の校長の話を聞くと、子ども同士のトラブル、学校の対応に対する苦情などの件数はかなりの数に上るといふふうに私は認識しています。現</p>

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
進 行 (市長)	<p>場の話を知ると、やはり後ろ盾があれば学校は安心できるだろうという思いはあります。ただ、今後、スクールロイヤー制度を導入するにあたっては、人数について、学校に配置するのか教育委員会に配置するのか、勤務日数や勤務内容など、先進的に行っている自治体等の例を参考にし、春日部市にはどのようなものが合うのかなど情報収集を行いながら関係各課と調整を進めていくことになると思います。あまり構えすぎてしまうと進まないと思うので、先進地の事例等を参考にしながら、まずは情報収集に努めていきたいと考えています。以上です。</p> <p>ありがとうございます。本日は、本当に熱のこもった意見交換ができて大変ありがたかったと思います。市の執行部も参加していますので、委員の皆様方の様々な発言等をしっかりと受け止めて、行政に生かして参りたいと思います。</p> <p>それでは、以上をもちまして、次第4の協議調整事項に関する意見交換は、終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございます。</p>
事務局	<p>【5 事務連絡】</p> <p>今年度の総合教育会議についてはこれで終了となります。</p> <p>令和4年度の総合教育会議につきましては、3回程度の開催を予定しています。開催時期については、改めて連絡させていただきます。以上で、令和3年度第2回総合教育会議を閉会します。ありがとうございました。</p> <p>【6 閉会】</p>

令和3年度第2回春日部市総合教育会議 名簿

【構成員】

No.	役 職	氏 名
1	市長	伊々 加 ^レ ヒロ
		岩谷 一弘
2	教育長	加 ^レ タ トオル
		鎌田 亨
3	教育長職務代理者	ミ ^レ 双 アキミ
		水沼 章文
4	教育委員	加 ^レ モリ リョウタイ
		金森 良泰
5	教育委員	加 ^レ タ ^レ シンジ
		岡田 新司
6	教育委員	アキヤマ マサエ
		秋山 早苗

【執行部】

No.	役職	氏名
1	総合政策部長	サクライ アツ
		桜井 厚
2	総合政策部次長	ノモト ノボル
		野本 昇
3	学校教育部長	オモカワ ヒロキ
		大川 裕之
4	学務指導担当部長	タノ トシキ
		舘野 俊之
5	社会教育部長	セキグチ ノブヨシ
		関口 信義
6	学校教育部次長	シハラ ナキ
		篠原 直樹
7	学務指導担当次長	オノ アキヒコ
		大野 明彦
8	社会教育部次長	カニヤ ツカサ
		神谷 司